

令和 8 年度 1 種審判資格認定試験練習問題

【I. 個人・団体総則】

1. 審判パネルについて、正しい構成はどれか？
 - a. C パネル・A パネル
 - b. D パネル・A パネル・E パネル
 - c. D パネル・E パネル
2. 難度審判パネルについて、正しくない説明は次のどれか？
 - a. サブグループ 1 は 2 名の審判員が各々にて採点し、共通の DB 得点を与える
 - b. 4 名の審判員、2 つのサブグループに分かれる
 - c. サブグループ 2 は 2 名の審判員が各々にて採点し、2 名の点数を合計して DA 得点を与える
3. 芸術審判パネル (A) は、何名の審判で構成されているか？
 - a. 2 名 (A1、A2)
 - b. 3 名 (A1、A2、A3)
 - c. 4 名 (A1、A2、A3、A4)
4. D パネルの第 1 サブグループ (DB) の任務について、正しくない説明は次のどれか？
 - a. 身体難度 (DB) の数と技術的価値の評価をする
 - b. 回転を伴うダイナミック要素 (R) の数と技術的価値の評価をする
 - c. 必須の基礎手具技術要素の有無を評価する
5. 最終 D 得点の出し方について、正しい説明は次のどれか？
 - a. 共通の DB と共通の DA の合計
 - b. 2 名のうち高い方の DB と DA の合計
 - c. 共通の DB と共通の DA を 2 で割ったもの
6. A パネルの任務について、正しくない説明は次のどれか？
 - a. 4 名の審判員は芸術的欠点を減点にて評価する
 - b. 2 名の審判員は芸術的欠点を減点にて評価し、共通の A 減点を与える
 - c. 芸術減点の合計が 10.00 点から差し引かれ、最終の A 得点となる
7. E パネルの任務について、正しくない説明は次のどれか？
 - a. 4 名の審判員は各々にて他の審判員と相談せず減点合計を決定する
 - b. 4 名の審判員は他の審判員と相談し、減点合計を決定する
 - c. 実施減点の合計が 10.00 点から差し引かれ、最終の E 得点となる

8. 計時審の任務について、正しい説明は次のどれか？

- a. 全ての演技に関する計時（演技の開始、選手の演技中）は、1 秒単位で行われる
- b. ストップウォッチは音楽の始まりに押され、選手の動きが完全に終わった時点で止められる
- c. 身体と／または手具の動きなしでの 4 秒を超えない短いイントロダクションは許容されない

9. 次の計時審の減点は何点か？

- ・ 個人選手の演技が完全に終わった時にストップウォッチを押したが、1 分 33 秒だった
- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.15 点

10. 次の計時審の減点は何点か？

- ・ 個人選手の演技が完全に終わった時にストップウォッチを押したが、1 分 13 秒だった
- a. 0.05 点
- b. 0.10 点
- c. 0.20 点

11. 次の計時審の減点は何点か？

- ・ 団体選手の演技が完全に終わった時にストップウォッチを押したが、2 分 30 秒 72 だった
- a. 0.00 点
- b. 0.05 点
- c. 0.30 点

12. 次の計時審の減点は何点か？

- ・ 団体の演技において、4 名の選手は 2 分 30 秒で動きを終え、残り 1 名の選手の最後の動きが完全に終わったのは 2 分 31 秒だった
- a. 0.00 点
- b. 0.05 点
- c. 0.10 点

13. 線審について、正しくない説明は次のどれか？

- a. 身体や手具が規定のラインを超えて、床に触れた場合に減点する
- b. 線審が対角線上の角に着席した場合、2 つのラインと左手側に位置する角に責任を持つ
- c. 選手の演技が中断された場合、演技面を離れた際の線審の減点はなし

14. 次の線審の減点は何点か？

- ・ 同じライン外で同時に 2 本のクラブを喪失した
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

1 5. 次の線審の減点は何点か？

- ・ 最後の動きの後、音楽がまだ流れているときに手具がラインを超えた
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

1 6. 次の線審の減点は何点か？

- ・ 手具が演技中に天井の梁に引っ掛かる
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

1 7. 次の線審の減点は何点か？

- ・ 破損した手具を演技面外へ出す
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

1 8. 次の線審の減点は何点か？

- ・ 2つの異なるライン外で同時に2個の手具を喪失した
- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.90 点

1 9. 次の線審の減点は何点か？

- ・ 個人選手が演技面外で演技を終了することに対して
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

2 0. 次の線審の減点は何点か？

- ・ 団体演技中に2個またはそれ以上の連結（ジョイント）された手具を同じライン外で同時に喪失した
- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.90 点

2 1. 個人選手は1回の演技で何個の予備手具を使用できるか？

- a. 2 個
- b. 3 個
- c. 1 個

- 2 2. 許可されているレオタードは？
- チュチュのようなスカート
 - レオタードと分かれた靴下
 - 細いストラップのレオタード
- 2 3. 許可されていない服装は？
- 裸足にて演技を実施
 - 装飾的なアップリケがついたレオタード
 - 発光ダイオード（LED）で装飾されたレオタード
- 2 4. 団体選手のレオタードが服装の規定に反している場合の減点は？
- レスポンスブルジャッジから、選手の人数分 0.30 点の減点
 - 線審から 0.30 点の減点
 - レスポンスブルジャッジから、団体に 1 度 0.30 点の減点
- 2 5. 「演技の開始前に配置されていない予備手具の使用」の減点はどの審判から減点されるか？
- レスポンスブルジャッジ
 - 線審
 - コーディネータージャッジ
- 2 6. 演技中に自分の手具が破損した場合について、正しい対応の説明は次のどれか？
- 演技をやり直す
 - 破損した手具で演技を続ける
 - 破損した手具を演技面外へ出し、予備手具を使用して演技を続ける
- 2 7. 選手が手具を破損し、演技を途中で中止した場合について、正しい説明は次のどれか？
- 難度、芸術、実施、全て 0.00 点
 - すでに有効な方法で実施されている難度は評価し、芸術は 0.00 点、実施は演技終了時に手具を喪失した減点をいれ、演技中に適用される全ての減点を差し引く
 - すでに有効な方法で実施されている難度は評価し、芸術と実施は 0.00 点を与える
- 2 8. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？
- 演技中に手具が使用不可能な手具と判断し、演技面外へ手具を出し予備手具を使用する
- 0.00 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点

29. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 選手が演技中に手具を喪失し、演技面外に転がった。選手は予備手具を使用する。喪失した手具が演技面に転がり戻る。選手は戻ってきた手具を取り戻し、演技面外へ予備手具を出した。
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

30. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 個人演技中に手具を喪失したが演技面外へ出なかった
選手は喪失した手具をそのままにし、予備手具を使い最後まで演技した
- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 0.80 点

31. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 演技開始前にリボンが使用不可能な手具と判断し予備手具を使用するが、競技会を遅延させなかった
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

32. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 演技開始前に競技会を 30 秒を超えて遅延させ、リボンの結び目を解く
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

33. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 肌の色ではない包帯やサポーターを着用し演技を実施
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

34. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？

- ・ 選手が演技中に化粧を自主的に変えた。
- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

35. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？
- ・ 団体選手が演技中に 1 名離脱し、補欠と交代した。
- 0.10 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点
36. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？
- ・ 手具を演技面外へ喪失、コーチまたはその他の人から選手に戻された
- 0.00 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点
37. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？
- ・ 選手の入場が早い（コールの前）または入場が遅い（運営側のミスではなく）
- 0.00 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点
38. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？
- ・ 団体演技中に選手同士が互いに声を掛け合った
- 0.00 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点
39. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？
- ・ 競技会場でウォーミングアップを行う
- 0.00 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点
40. 次のレスポンスブルジャッジの減点は何点か？
- ・ コーチが、選手または審判員と連絡をとる
- 0.00 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点

【Ⅱ. 個人 D】

- 4 1. シニア個人の難度構成について、正しい説明は次のどれか？
- 身体難度 (DB) は、実施順に最高 8 個をカウント
 - 回転を伴うダイナミック要素 (R) は実施順に最高 4 個
 - 手具難度 (DA) は、実施順に最高 20 個
- 4 2. ジュニア個人の難度構成について、正しい説明は次のどれか？
- 手具難度 (DA) は、実施順に最高 15 個をカウント
 - 回転を伴うダイナミック要素 (R) は実施順に最高 4 個
 - 身体難度 (DB) は最も高いものから最高 6 個をカウント
- 4 3. DB について、正しい説明は次のどれか？
- DB が繰り返された場合、難度は無効で 0.30 点減点
 - 演技中、スローバランスの回数には制限がない
 - 1 つまたはそれ以上の身体部位が 20° を超える大きな誤差を伴った場合、DB は無効
- 4 4. ジュニア個人の DB について、次の場合 DB 審判からの減点は何点か？
- “スローターン”バランスをルルベと踵をついて実施した
- 減点なし
 - 1 個を超える実施に対して 0.30 減点
 - 実施が認められていないことに対して一括 0.30 減点
- 4 5. 後屈を伴う身体難度について、正しい説明は次のどれか？
- “胴の後屈”が大きな誤差を伴って実施された場合、“後屈”を伴わず基礎的特徴に従って実施された基本価値も無効になる
 - 胴の後屈を伴う難度においては脚のいずれかの部位に接触
 - 開脚リングリープと開脚後屈リープは、どちらも胴の後屈位置として認識できる
- 4 6. 身体難度について、正しい説明は次のどれか？
- 側方開脚バランスと側方開脚・胴の後屈を伴ったバランスをどちらも“ルルベ”でつなげて実施した場合、1 つの DB としてカウントできる
 - 切り替え開脚リープの“切り替え”が大きな誤差を伴って実施された場合、“切り替え”を伴わず基礎的特徴に従って実施された基本価値は有効になる
 - 各 DB が有効となるためには形が固定され明確であること
- 4 7. 身体難度について、正しい説明は次のどれか？
- DB の形を取ろうとしたが、バランスを崩して脚を下げてしまいすぐにやり直した場合、繰り返してではなく 2 回目の実施が評価される
 - ピボットのシリーズは、1 DB として評価される
 - 踏み切り脚の変更を伴う 2 つまたは 3 つの連続した開脚リープは、3DB として評価される

- 4 8. 同じ DB ボックスの身体難度について、正しい説明は次のどれか？
- カブリオール前方、側方、後方は、繰り返すことができない
 - パンシェバランス、サクラ（パンシェ）バランスは、繰り返すことができない
 - 支持を伴うリングローテーション、支持を伴う後方開脚ローテーションは、繰り返すことができない
- 4 9. 高い投げの下での単独の DB について、正しい説明は次のどれか？
- 低い投げの下での単独の DB は有効
 - 手具の投げの下での DB の後に手具を喪失した場合、DB は有効
 - DB は、投げの間、ブーメランの下、または受けの間のいずれかで行うことが出来る
- 5 0. 手具技術グループについて、正しい説明は次のどれか？
- 全ての手具には、基礎と基礎でない手具技術グループがある
 - 2 つまたはそれ以上を必要とする手具技術要素（全てのフォームでの放しと受け）は、1 つの DB と 1 つの DA のみが有効
 - DB または DA に対して“高い投げ”が正しく実施された後、“高い投げからの受け”で手具を喪失した場合、手具技術要素／ベースの投げと受けのどちらも無効
- 5 1. DB 中のフープの手具操作として成立しないのはどれか？
- 
 - 
 - 
- 5 2. DB 中のボールの手具操作として成立しないのはどれか？
- 
 - 
 - 
- 5 3. DB 中のクラブの手具操作として成立しないのはどれか？
- 
 - 
 - 

5 4. DB 中のリボンの手具操作として成立しないのはどれか？

- a. 
- b. 
- c. 

5 5. R について、正しい説明は次のどれか？

- a. 垂直軸での回転の各グループは R で 2 回まで使用することができる
- b. 別の R で（異なるバリエーションに関わらず）プレアクロバット要素のグループが繰り返された場合（単独またはシリーズで）R は無効
- c. DA で 1 度使用した同じグループのプレアクロバット要素を R で使用することはできない

5 6. R について、正しい説明は次のどれか？

- a. 最初の回転の前または最初の回転中に、手具を高く投げる
- b. 低い投げは無効、中くらいの投げは有効
- c. 空中下で最低 1 回の身体回転のダイナミック要素があること、2 回転目の最中に受けることもできる

5 7. 次の R の価値は何点か？

- ・ 投げ、手具の空中下でシェネを 2 回転、前転をしながら回転中に手以外視野外での受け

R3 ≠ ✕

- a. 0.40 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

5 8. 次の R の価値は何点か？

- ・ 手以外での投げ、手具の空中下でシェネを 3 回転、視野外での受け

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 0.70 点

5 9. 次の R のみの価値は何点か？

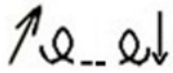
- ・ 同じ形の回転リープ（回転を伴う DB）で高い投げ、空中下で回転リープ、3 番目の回転リープで受け

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

6 0. R が無効になる実施方法は、次のどれか？

- a. 基本回転後に移動を伴い受ける
- b. リボンの金具を受ける
- c. 回転を伴う DB で投げる

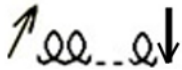
6 1. 次のように実施された R について、正しい説明は次のどれか？



高い投げ、1 回転目、追加のステップ、2 回転目、受け

- a. 有効
- b. 無効
- c. 実施減点を伴い有効

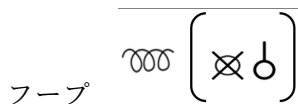
6 2. 次のように実施された R について、正しい説明は次のどれか？



高い投げ、中断のない 2 回の基本回転に続いて 2 歩の移動と 3 回目の回転、受け

- a. 実施減点を伴い R 2 として有効
- b. 無効
- c. 実施減点を伴い R 3 として有効

6 3. 次の DA の価値は何点か？



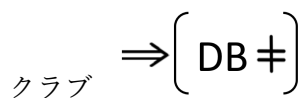
- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

6 4. 次の DA の価値は何点か？



- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

6 5. 次の DA の価値は何点か？



- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

6 6. 次の DA の価値は何点か？

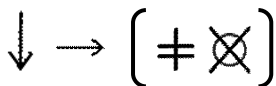
リボン：空中での 

- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

6 7. DA について、正しい説明は次のどれか？

- a. 垂直回転グループを使用する場合、制限はない
- b. プレアクロバット要素の同じグループは 2 度まで使用することができる
- c. プレアクロバット要素の異なるグループから最高 4 個のプレアクロバット要素を基準の“回転”として実施することができる。

6 8. 次の DA の価値は何点か？

フープ 

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 0.40 点

6 9. 次の DA の価値は何点か？

ボール 

- a. 0.40 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

7 0. 身体の一部（手以外）の周りでのフープの回し（最低 1 回）の DA において、利用不可能な基準は次のどれか？

- a. 
- b. 
- c. 

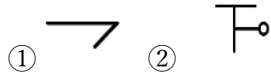
7 1. 少なくとも 2 つの身体部位の間で手の補助なしでのリボンの持ち替える DA において、利用不可能な基準は次のどれか？

- a. 
- b. 
- c. 

7 2. バランス難度について、正しい説明は次のどれか？

- a. 同じ演技の中で、つま先立ち（ルルベ）と踵をついてバランスの同じ形を実施することができる
- b. “スローターン”を伴う、または伴わない同じ形のバランスは繰り返すことができる
- c. 支持脚が伸びていても曲がっていても、バランス難度の価値は変わらない

7 3. 次の DB の価値は何点か？



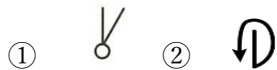
- a. ①0.10 点②0.50 点
- b. ①0.20 点②0.60 点
- c. ①0.20 点②0.50 点

7 4. 次の DB の価値は何点か？



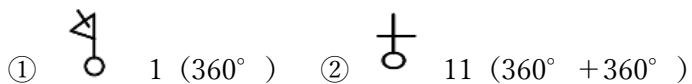
- a. ①0.10 点②0.20 点
- b. ①0.10 点②0.30 点
- c. ①0.20 点②0.20 点

7 5. 次の DB の 360° の価値は何点か？



- a. ①0.40 点②0.30 点
- b. ①0.60 点②0.40 点
- c. ①0.50 点②0.40 点

7 6. 次の DB の価値は何点か？



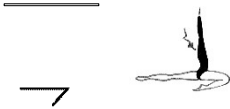
- a. ①0.30 点②0.30 点
- b. ①0.30 点②0.40 点
- c. ①0.20 点②0.30 点

77. 次の DB の価値は何点か？



- a. 2 BD として 0.60
- b. 1 BD として 0.50
- c. 2 BD として 0.50

78. 鹿リープについて、正しい説明は次のどれか？



- a. 片足または両足の踏み切りでの鹿リープは同じ身体難度とみなされる
- b. 鹿の位置は水平で 180° 位置を維持しても、脚が水平位置より上または下にある場合では認められない
- c. 片足と両足の踏み切りでの鹿リープは別の難度である

79. 支持を伴う後方開脚バランスについて、正しい説明は次のどれか？



- a. 開脚は要求されない
- b. 頭と脚の接触が必須
- c. 接触は要求されていない

80. パンシェローテーションについて、正しい説明は次のどれか？



- a. 胴は水平へまたはそれより下に前屈する、もしくは支持を伴わないリング
- b. 基本回転は 180°
- c. ルルベで実施

【Ⅲ. 個人 A/E】

- 8 1. 芸術における音楽について、正しい説明は次のどれか？
- a. 一般的でない音楽的特徴を持つ音は禁止されている（例：サイレン、車のエンジン音、など。）
 - b. 音楽の特徴は、選手の年齢、技術レベル、芸術の質を尊重する必要はない
 - c. 選手が動き始めの前、最大 5 秒までの音楽のイントロダクションは認められる：音楽のイントロダクションが 5 秒を超えた場合、減点される
- 8 2. 芸術において“アイデアのガイドと特徴”について、正しい説明は次のどれか？
- a. “つなぎ”とは 2 つの動きまたは難度間を“接続させること”である
 - b. アイデアのガイドは音楽の特徴に対する選手独自の解釈で強調するものである
 - c. 選手の動きのスピードと強度、及び手具の動きは、音楽のダイナミズムとテンポの変化に反映されるべきである
- 8 3. 芸術において“アイデアのガイドと動きの特徴”の減点について、正しくない説明は次のどれか？
- a. 特徴のあるパーツが 4 つに満たない、1.00 点減点
 - b. 動きのスタイルや特徴は、様々な方法を使用して展開され、始めから終わりまで演技全体で完全に発達し、実現された場合、減点なし
 - c. 演技の一部分にディテールと音楽の間に明確な統一がある、0.30 点減点
- 8 4. ダンスステップコンビネーションについて、正しくない説明は次のどれか？
- a. ダンスの開始動作から 8 秒間全てにおいてステップがはっきりと見えること
 - b. ダンスのアイデアや多様性を豊かにする大きな投げは実施可能である
 - c. “ガブリオール” ジャンプや “パッセ” バランスのような 0.10 点の価値の DB を含めることができる
- 8 5. ダンスステップコンビネーションが無効になってしまう条件で、正しくない説明は次のどれか？
- a. S 中にプレアクロバット要素を実施
 - b. S 中に手具の基礎技術が実施されていない
 - c. S 全体を床上にて実施
- 8 6. 個人演技、音楽を伴うエフェクトについて、正しい説明は次のどれか？
- a. エフェクトは、動きまたは、音楽のどちらかが印象を残すのに十分なインパクトを持たなければならない
 - b. ダンスステップコンビネーションに特有のアクセントを強調する特有な動きの追加が含む場合、移動の様式と音楽（リズムとアクセント）の間の調和を優先するため、その様式自体はエフェクトと認識されない。
 - c. 単純な動きと複雑な動きのどちらも、音楽の重要な瞬間を強調させるという明確な目的で実施された時、エフェクトを創り出すことができる。

87. 個人演技、つなぎについて、正しくない説明は次のどれか？
- a. 動きと動きを接続させることは、構成の特徴を助けることになる
 - b. 非論理的なつなぎは、そのつど 0.10 点、最大 1.00 点までの減点となる
 - c. 関連性のない要素が含まれる構成は減点される
88. 次の A（芸術審判）の減点は何点か？
- ・ 演技中、ダンスステップコンビネーションと評価できるものが 1 つしかなかった
 - a. 0.30 点
 - b. 0.50 点
 - c. 1.00 点
89. 次の A（芸術審判）の減点は何点か？
- ・ 個人演技中、ダイナミックチェンジとエフェクトが 2 つ評価できた
 - a. 0.30 点
 - b. 0.60 点
 - c. 減点なし
90. 次の A（芸術審判）の減点は何点か？
- ・ 個人演技中、同じ高い投げが 4 個あった
 - a. 0.30 点
 - b. 0.60 点
 - c. 減点なし
91. 次の A（芸術審判）の連続性の中断の減点は何点か？
- ・ 演技の連続性が深刻な技術的中断により 4 秒またはそれ以上途切れる（演技中に 1 度の減点）
 - a. 0.30 点
 - b. 0.60 点
 - c. 0.90 点
92. 次の A（芸術審判）の減点は何点か？
- ・ 演技中、フロア面全体の使用が不十分であった
 - a. 0.30 点
 - b. 0.60 点
 - c. 減点なし
93. 個人演技において、A（芸術審判）で表現の評価（身体／顔）の正しい減点は次のどれか？
- a. 最低でも 2 つのパーツで、表情を完全に優先して実施する、0.30 点減点
 - b. 表情が完全に発達していない、または一部分しか発達していない場合、0.60 点減点
 - c. 演技の 2 つ未満のパーツで完全に発達している、と／または 4 回またはそれ以上の瞬間が固い／無表情／集中しているように見える、0.90 減点

9 4. 正しい減点は次のどれか？

- ・ 演技終末にボールが落下、移動せずすぐに取り戻したが演技終了時に音楽と動きのハーモニーが合わなかった
- a. E（実施審判）で 0.50 点の減点、A（芸術審判）で 0.30 点の減点
- b. E（実施審判）で 1.00 点の減点、A（芸術審判）で 0.50 点の減点
- c. E（実施審判）で 0.50 点の減点、A（芸術審判）で 0.50 点の減点

9 5. 正しい減点は次のどれか？

- ・ 個人演技中、12 回音楽のアクセント・フレーズ・テンポに合っておらず、非論理的なつながりが 11 回あった
- a. 2.00 点
- b. 2.20 点
- c. 2.30 点

9 6. 正しい減点は次のどれか？

- ・ 規則に従わない音楽
- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 1.00 点

9 7. 正しい減点は次のどれか？

- ・ 4 秒を超える音楽のイントロダクション
- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 1.00 点

9 8. 実施審判パネルの評価について、正しくない説明は次のどれか？

- a. 実施欠点は各要素に対し、毎回減点すること
- b. フロア全体の使用が不十分である場合、減点される
- c. 選手自身の演技が安全にかつ最も美しく熟練した技術要素のみが含まれていることを要求される。この要求から逸れている場合は減点される

9 9. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 全身波動が不完全な動きだった
- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 0 0. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ プレアクロバットの形の不完全な動きまたは大きさに欠ける
- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 0 1. 次の E（実施審判）の減点は合計何点か？

- ・ 1つの動作中に膝が曲がり、さらに肩が上がっていた
- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 0 2. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ バランスを失い片手で支えたのち、転倒した
- a. 0.50 点
- b. 0.70 点
- c. 1.20 点

1 0 3. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 鹿リープ  において着地が重い
- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 0 4. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 支持を伴わない後方開脚バランス  にて開脚に 19° の誤差があり、胴が非対称な位置にあった
- a. 0.20 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 0 5. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 支持を伴わない側方開脚バランスにて、上の脚に中くらいの誤差、胴体の中くらいの誤差があった



- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

1 0 6. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ ローテーション難度中にボールを掌と前腕で保持、回転終了時に身体の軸が垂直でなく余分なステップが入った
- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 0 7. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 不注意による身体との接触を伴った不正確な受け
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 0 8. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ フープの演技中、回しの最中に上腕にずれた
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 0 9. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ フープの演技中、不正確な操作が 3 回あり、投げの後の受けで上腕に接触した
- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 1 0. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ ボールの演技中、不注意によって身体での不完全な転がし
- a. 0.00 点
- b. 0.10 点
- c. 0.30 点

1 1 1. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ ボールの演技中、不正確な操作（前腕でボールを保持する・握る）が 5 回、1 つの転がし実施中に不正確に 2 回バウンドした
- a. 0.50 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

1 1 2. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ クラブの演技中、2 本のクラブの投げと受けの最中にクラブの回転の同時性が乱れた
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 3. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ リボンの演技中に、操作に最小限の影響を伴う小さな結び目ができた
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 4. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ リボンの演技中に、中断なしで、不注意により身体または身体の一部またはスティックの周りにリボンが巻きついた
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 5. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ リボンの演技中、エシャッペの実施中に不注意によりリボンの一部が 1m を超えて床に残った
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 6. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ クラブの不正確な投げ、不正確な軌道により手具の喪失を防ぐために 1 歩移動して空中で受けた
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 7. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ リボンの不正確な投げ、不正確な軌道により手具の喪失を防ぐためにシャッセで移動をして空中で受けた
- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

1 1 8. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ フープがフロア外に落下、2 歩の移動で取り戻した
- a. 0.50 点
- b. 0.70 点
- c. 1.00 点

1 1 9. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 手具を喪失して 1-2 歩の移動の後に取り戻す
- a. 0.50 点
- b. 0.70 点
- c. 1.00 点

1 2 0. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 2本のクラブを連続して喪失し、1本目のクラブは移動せずに取り戻し、もう1本のクラブは3歩の移動の後に取り戻した
- a. 0.50 点
- b. 1.00 点
- c. 1.50 点

【IV. 団体 D】

- 1 2 1. シニア団体の難度構成について、正しい説明は次のどれか？
- 身体難度（DB/DE）は実施順に最高 10 個をカウント
 - 回転を伴うダイナミック要素（R）は最低 1 個必要
 - 交換を伴う難度（DE）は最低 4 個必要
- 1 2 2. シニア団体の手具難度（DA）の難度構成について、正しい説明は次のどれか？
- 連係を伴う難度の CC は最低 2 個必要
 - 連係を伴う難度は最低 9 個、最も高いものから順に最高 14 個をカウント
 - 連係を伴う難度は最低 9 個、実施順に最高 14 個をカウント
- 1 2 3. ジュニア団体の難度構成について、正しくない説明は次のどれか？
- 身体難度（DB/DE）は実施順に最高 6 個をカウント
 - 交換を伴う難度（DE）は最低 4 個必要
 - 手具難度（DA）連係を伴う難度は最低 6 個、実施順に最高 10 個
- 1 2 4. 団体演技で DB の実施方法について、DB が有効にならないものは次のうちどれか？
- R で実施
 - 3 つまたはそれ以上の異なる DB を同時に実施
 - 同時または素早い連続で実施
- 1 2 5. シニアの団体演技中に 4 個の身体難度（DB）が不足した場合の減点はどれか？
（全く実施されなかった場合、または 5 名全ての選手達が演技しなかった場合。実施ミスにより、
1-2 名の選手が参加しなかった場合を除く）
- サブグループ 1 審判（DB）審判より 0.30 減点
 - 実施審判（E）審判より 0.30 減点
 - 減点なし
- 1 2 6. 身体難度（DB）が無効となるものはどれか？
- サブグループでの実施
 - 膝での着地
 - DE での実施
- 1 2 7. 正しい説明は次のどれか？
- 団体競技には R を入れなくてよい
 - 団体競技にはジャンプが入っていないとよい
 - 団体競技ではダンスステップコンビネーションを 1 個入れればよい

1 2 8. 正しい説明は次のどれか？

- ・ジュニア団体競技で、3つのDB(身体難度)が入っていた。

5名同時にジャンプ難度を2つ、5名同時にバランス難度を1つ実施した

- a. 難度を3つ、5名が実施しているので減点なし
- b. 5名同時にローテーション難度を実施していないので第1サブグループ審判員から0.30点減点
- c. 5名同時にローテーション難度を実施していないので第2サブグループ審判員から0.30点減点

1 2 9. 正しい説明は次のどれか？

- ・5名の選手がR(回転を伴うダイナミック要素)を同時に異なる方向で実施した

- a. 5名が同じ方向に実施していないのでノーカウントで価値0.00点
- b. 5名が同時に実施しているので異なる方向でも、得点を与える
- c. 得点は与えるが、第2サブグループ(DA)審判員から0.30点減点

1 3 0. 次の交換の価値は何点か？

- ・5名全員で手以外・視野外での投げ、8メートルの距離と身長の高さを伴う交換

- a. 0.40点
- b. 0.50点
- c. 0.60点

1 3 1. 次の交換の価値は何点か？

- ・フープ5個の団体演技で5名の選手で軸回転を伴った投げ、8メートルの距離を伴う交換、回転をしながら手以外で受ける

- a. 0.30点
- b. 0.40点
- c. 0.50点

1 3 2. シニア団体において、次の交換の価値は何点か？

- ・4名の選手が高さはないが8メートルの距離を伴う交換、1名の選手が高さはないが6メートルの距離を伴う交換、投げ・受けともに追加の基準はない

- a. 0.40点
- b. 0.20点
- c. 0.00点

1 3 3. 次の交換の価値は何点か？

- ・ボール5個の団体演技で2名の選手が座位と視野外で投げ、3名の選手は手以外で投げた。5名の選手が8メートルの距離を伴い、手以外で手具を受けた

- a. 0.30点
- b. 0.40点
- c. 0.50点

1 3 4. 次の交換の価値は何点か？

- ・フープ3本×クラブ2組の団体演技で、8メートルの距離を伴う交換
フープの3名が、前方転回をしながら手以外・視野外で投げた
クラブの2名が、手以外でクラブの水平回転を伴い投げた

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 3 5. 次の交換のみの価値は何点か？

- ・5名全員で鹿ジャンプを伴い投げ、身長2人分の高さを伴う交換

- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

1 3 6. 次のDBの価値は何点か？

- ・2名の選手がパンシェターン2回転、3名の選手がアチチュードターン2回転を実施

- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

1 3 7. 次のDBの価値は何点か？

- ・3名の選手が水平の伸脚を伴ってのフェットローテーションを5回転
2名の選手は後屈を伴った伸脚での切り替え回転鹿リープ

3名  11111

2名 

- a. 0.60 点
- b. 0.70 点
- c. 1.00 点

1 3 8. 次のDBの価値は何点か？

- ・4名の選手が踵の支持なしパンシェバランス
1名の選手は踵の支持あり側方開脚、胴は側方への水平を伴うバランス

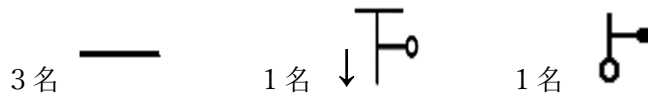
4名 

1名 

- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

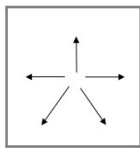
1 3 9. 次の DB の価値は何点か？

- ・ 3 名の選手が開脚リープ
1 名の選手が踵の支持ありパンシェバランス
1 名の選手がパンシェローテーション 360°



- a. 0.00 点
- b. 0.40 点
- c. 0.30 点

1 4 0. 次のように実施された R について、正しい説明は次のどれか？



・ 5 名が異なる方向へ移動した

- a. カウントできる
- b. カウントはできるが、DB 審判より減点が入る
- c. カウントできない

1 4 1. 次の R の価値は何点か？

- ・ 5 名の選手が素早い連続で同じ方向に向かって
投げ、手具の空中下でシェネを 2 回転、手以外・視野外での受け

- a. 0.00 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 4 2. 次の R の価値は何点か？

- ・ 3 名の選手が、空中下でシェネ 1 回転と前転 1 回転
2 名の選手が、空中下でシェネ 1 回転と側転 1 回転

- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.20 点

1 4 3. 次の R の価値は何点か？

- ・ボール 5 個の団体演技で 3 名が、手具の空中下でシェネを 3 回転、手以外・視野外での受け
2 名が、手具の下でシェネを 3 回転、前面で片手受け

3 名 ~~R3~~ 2 名 R3 ↓

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 4 4. 次の R の価値は何点か？

- ・フープ 3 本×クラブ 2 組の団体演技で
フープの 3 名が、視野外投げ、手具の空中下でシェネを 2 回転と前転を 1 回転
クラブの 2 名が、手以外投げ、手具の空中下でシェネを 2 回転と前転を 1 回転

3 名 ~~R3~~ 2 名 ~~R3~~

- a. 0.00 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 4 5. 次の連係の価値は何点か？

CC

- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

1 4 6. 次の連係の価値は何点か？

CR 2-~~○~~ ~~≠~~

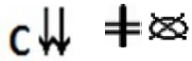
- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

1 4 7. 次の連係の価値は何点か？

C ~~↗~~ ~~≠~~ CR

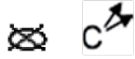
- a. 0.00 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 4 8. 次の連係の価値は何点か？



- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

1 4 9. 選手が2個の手具を同じ方向に視野外で長い投げ、正しい価値は次のどれか？



- a. 0.00 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

1 5 0. 複数投げを実施した選手が、自分で投げた複数投げのうちの1個を受けた、正しい価値は次のどれか？



- a. 0.00 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 5 1. 次の連係の価値は何点か？



- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.60 点

1 5 2. 次の連係の価値は何点か？



- a. 0.40 点
- b. 0.50 点
- c. 0.60 点

1 5 3. 次の連係の価値は何点か？



- a. 0.50 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

1 5 4. 次の連系の価値は何点か？

等しくない間隔で実施した **CC** (1 - - 2 - - - - - 3)

- a. 0.20 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

1 5 5. 次の連系の価値は何点か？

1 つ目と 2 つ目の動きが同時に実施、のちに 3 つ目の動きで実施した **CC** (1 & 2 - - - - - 3)

- a. 0.00 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

1 5 6. CR について、正しい説明は次のどれか？

- a. 垂直回転グループの同じグループは 1 度までしか使用することができない
- b. 垂直回転グループを使用する場合、制限はない
- c. プレアクロバット要素の同じグループは 2 度まで使用することができる

1 5 7. 正しいものは次のどれか？

・連系が無効になる条件

- a. 選手の衝突
- b. 3 歩以上移動して受ける
- c. サブグループでの実施

1 5 8. 正しいものは次のどれか？

・連系が無効になる条件

- a. 難度がフロアの外から開始される
- b. フロア内から実施した連系の投げをフロア外で手具を受ける
- c. リボンの結び目を伴った

1 5 9. シニア団体演技の中に、CR が 15 個入っていた場合の減点は何点か？

- a. 減点なし
- b. 第 2 サブグループ審判 (DA) 審判より 0.60 減点
- c. 第 2 サブグループ審判 (DA) 審判より 0.30 減点

1 6 0. ジュニア団体演技の中に、CC が 1 つしか入っていなかった場合の減点は何点か？

- a. 減点なし
- b. 第 2 サブグループ審判 (DA) 審判より 0.60 減点
- c. 第 2 サブグループ審判 (DA) 審判より 0.30 減点

【V. 団体 A/E】

- 1 6 1. 芸術において“アイデアのガイドと特徴”について、正しくない説明は次のどれか？
- a. 始めから終わりまで演技全体でアイデアと特徴が完全に発達し、実現できた演技は、減点なし
 - b. 演技の大部分でアイデアのガイドと特徴が優先される演技は、0.30 点減点される
 - c. 演技の一部で未発達なアイデアのガイドと特徴が優先される演技は、0.30 点減点される
- 1 6 2. ダンスステップコンビネーションについて、正しくない説明は次のどれか？
- a. 要求される 8 秒間の最中に、プレアクロバット要素は実施できない
 - b. ダンスステップコンビネーション中に CC 要素は実施できる
 - c. 団体演技には最低 2 個のダンスステップコンビネーションがあること
- 1 6 3. 身体の実現について、正しくない説明は次のどれか？
- a. 選手の自然な動きの質と、振付けられた特徴のディテールの表現の質と強度の両方である
 - b. 手だけの身体部位を利用することで生み出される
 - c. 選手の体格や身長に関係なく、身体の実現の動きは最大限の範囲、広がり、伸張で実施される
- 1 6 4. 団体演技、つなぎについて、正しい説明は次のどれか？
- a. 非論理的なつなぎはそのつど 0.10 点、最大 2.00 点までの減点となる
 - b. 振付け全体を通じて、常に全ての選手間で明確な関係を伴い、ユニットとして働き、動くことを期待されていない
 - c. 動きと動きを接続させることは、構成の特徴を強化させることにならない
- 1 6 5. リズムについて、正しくない説明は次のどれか？
- a. 明らかに動きがアクセントの前または後で強調されている場合、減点される
 - b. アクセントまたはフレーズの変化とは別に実施された、または音楽によって確立されたテンポから逸脱した動きは、そのつど 0.10 点、最大 2.00 点までの減点となる
 - c. 音楽がフェードアウトで終わる際、選手が速い動きを続け、フェードアウトで大きな動きのアクセントを創り出している場合でも減点されない
- 1 6 6. 共同作業について、正しくない説明は次のどれか？
- a. 芸術評価の必須構成要素として認識されるために、各共同作業は難度要素で実施されてもよい
 - b. 団体演技の代表的な特徴は各選手が協力精神を持ってチームとしての全体の動きに参加することである
 - c. 各演技は様々な種類の共同作業を含むべきである
- 1 6 7. 共同作業「コーラル」について、正しい説明は次のどれか？
- a. 同じ動きを同時に実施
 - b. 5 名の各選手達が、合計で 5 つの異なる役割を果たすこと
 - c. 5 名の選手達はそれぞれ、2 つの対照的なアクションのいずれかを実施すること

- 1 6 8. 次の A (芸術審判) のアイデアのガイドと動きの特徴の正しい減点は次のどれか？
- a. 最低 5 つのパーツに特徴がある場合、0.30 点減点
 - b. 演技の大部分に特徴がある場合、0.60 点減点
 - c. 特徴あるパーツが 5 つに満たない場合、1.00 点減点
- 1 6 9. 団体演技中、ダンスステップコンビネーションが全く実施されなかったダンスステップの項目の減点は何点か？
- a. 0.30 点
 - b. 0.60 点
 - c. 1.00 点
- 1 7 0. 身体の実現において、最低 2 つのパーツで完全に発達している場合の減点は何点か？
- a. 0.30 点
 - b. 0.60 点
 - c. 0.00 点
- 1 7 1. ダイナミックチェンジとエフェクトが 1 つもなかった場合の減点は何点か？
- a. 0.00 点
 - b. 0.60 点
 - c. 1.20 点
- 1 7 2. 団体演技中、3 つの D 要素で同じフォーメーション位置にいた場合の減点は何点か？
- a. 0.00 点
 - b. 0.30 点
 - c. 0.60 点
- 1 7 3. 演技中に 1 度だけ深刻な技術的中断により、演技の連続性が 4 秒またはそれ以上途切れた場合の減点は？
- a. 0.00 点
 - b. 0.30 点
 - c. 0.60 点
- 1 7 4. 選手間の同時性の欠如はどの審判からの減点か？
- a. D (難度審判)
 - b. A (芸術審判)
 - c. E (実施審判)
- 1 7 5. 共同作業のカノンとコーラルが構成上不足した場合の減点は？
- a. 0.30 点
 - b. 0.50 点
 - c. 0.60 点

176. 団体演技中、選手が動き始めの前、3秒のイントロダクションがあった場合の減点は何点か？
- 0.00 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点
177. 演技中に1度だけ、許可されない造形があった場合の減点は？
- 0.30 点
 - 0.60 点
 - 1.00 点
178. 1名または数名の選手が4秒を超えて手具なしの状態（構成上の欠点）があった場合の減点は？
- 0.30 点
 - 0.50 点
 - 1.00 点
179. メロディーの背景（楽器）がなく、アカペラの歌のいずれかのジャンルとして明確に識別できない話し言葉が音楽に使用されていた場合の減点は？
- 0.00 点
 - 0.30 点
 - 0.50 点
180. 正しい減点は次のどれか？
- ・演技終末に2名の選手がフープを同時に落下し、移動せずすぐ取り戻したが演技終了時に音楽と動きのハーモニーが合わなかった
- E（実施審判）で1.00の減点、A（芸術審判）で1.00の減点
 - E（実施審判）で1.00の減点、A（芸術審判）で0.30の減点
 - E（実施審判）で0.50の減点、A（芸術審判）で0.50の減点
181. 次のE（実施審判）の減点は何点か？
- ・3名の選手のプレアクロバットの形が不完全な動きであった
- 減点なし
 - 0.10 点
 - 0.30 点
182. 次のE（実施審判）の減点は何点か？
- ・不均等な間隔で実施されたCC
- 0.00 点
 - 0.10 点
 - 0.30 点

183. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・身体難度中に、身体部位の不正確な保持の減点となる、肩の上がりと膝の曲がりと同時にあった

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

184. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・1 名の選手がバランスを失い、手具で支えた

- a. 0.30 点
- b. 0.50 点
- c. 0.70 点

185. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・バランス難度中、2 名は最低 1 秒間の保持がなく、1 名は身体の軸が垂直でなく終了時に 1 歩余分なステップが入った

- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.90 点

186. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・5 名同時に胴の後屈を伴った開脚ジャンプ  を実施した

1 名の選手が着地の最後の局面で後ろに傾いて不正確に着地、2 名の選手が重い着地だった

- a. 0.30 点
- b. 0.40 点
- c. 0.50 点

187. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・5 名同時に支持を伴わない側方開脚バランス  を実施した

1 名は上の脚に 10° の誤差、1 名は上の脚に 15° の誤差、1 名は胴体に 20° の誤差があった

- a. 0.30 点
- b. 0.60 点
- c. 0.70 点

188. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・5 名同時にアチチュードローテーション  を実施した

2 名の選手がピボット中に不注意により踵をついた

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

189. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 5 名同時にプレアクロバットを実施したが、3 名の選手の着地が重かった

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

190. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 手支持での歩き（2 歩またはそれ以上の支持の変更）

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.50 点

191. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 交換を受ける際に

1 名は不注意による両手受け、1 名は不注意による身体との接触を伴った不正確な受けを行った

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.40 点

192. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 2 名の選手が同時に落下した。1 名は移動なし、1 名は 3 歩の移動の後に手具を取り戻した

- a. 減点なし
- b. 1.00 点のみ
- c. 0.50 点+1.00 点

193. 次の E（実施審判）の減点合計は何点か？

- ・ 2 名の選手が手具を喪失して移動せずに取り戻した

- ・ 1 名の選手が不正確な軌道により、3 歩移動して手具を空中で受けた

- ・ 1 名の選手がフープの投げを受ける際に上腕に接触した

- a. 1.30 点
- b. 1.60 点
- c. 1.80 点

194. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 2 名の選手が衝突して 2 名とも転倒した

- a. 0.80 点
- b. 1.50 点
- c. 1.40 点

195. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 連係中に 1 個または数個の手具が 4 秒を超えて明らかに固定されている

- a. 0.30 点
- b. 0.10 点
- c. 0.50 点

196. 次の E（実施審判）の減点の合計は何点か？

- ・ 2 名の選手が不正確な軌道により、1 歩移動して手具を空中で受けた
- ・ 3 名の選手がボールを両手で受けた
- ・ 1 名の選手のリボンに大きな結び目ができる

- a. 1.20 点
- b. 0.70 点
- c. 0.90 点

197. 正しい説明は次のどれか？

- ・ 5 名同時に開脚ジャンプを実施した。

2 名の選手は 20° を超える大きな誤差、3 名の選手は 10° 以下の小さな誤差であった

- a. 身体難度無効 + 実施減点
- b. 身体難度有効 + 実施減点
- c. どちらでもない

198. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 2 名の選手がフープのくぐり抜けの際、フープに脚が引っ掛かった

- a. 0.10 点
- b. 0.30 点
- c. 0.60 点

199. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 3 名の選手がボールの転がしの際、不正確に転がしバウンドした

- a. 0.10 点
- b. 0.20 点
- c. 0.30 点

200. 次の E（実施審判）の減点は何点か？

- ・ 4 名の選手が、フロア外に手具を同時に喪失した

- a. 1.00 点
- b. 2.00 点
- c. 4.00 点